

平成29年度 兵庫県立西宮甲山高等学校 特色選抜小論文（作文）課題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【課題文】



(昨年度の体育大会の一場面)

ダイキとサクラは、西宮甲山高校の教育総合類型の3年生です。9月のある日、甲高では体育大会が行われました。徒競走やリレー、学年の演技など、さまざまなプログラムがありました。その中に、「教育総合類型プログラム」もありました。近くの保育園から園児を招いて、教育総合類型の3年生と一緒にリレーに参加してもらうものでした。大歓声の中、園児と高校生がバトンをつないで走りました。その日の放課後、サクラが教室の前を通りかかると、同じクラスのダイキの姿が見えました。

- サクラ ダイキ、何してるの？
- ダイキ …うん。実はね、このノートに、甲高に入学してからのいろいろなことを書いてるんだ。行事のこととか、印象に残った先生のこととか…。
- サクラ へえ、すごいね。ちょっと見ていい？ あっ、今日の体育大会の絵じゃない！
これ、①さっきのリレーの絵だね。今日の教育総合類型プログラム。ダイキって絵がうまいね。
- ダイキ ありがとう。その時の印象を自分なりに残すのが良いかなと思って。
- サクラ そうだね。あっ、絵の横にも何か書いてあるね。
- ダイキ うん。感想とか、こうしたら良かったのって反省したことなんかを書くようにしているんだ。
- サクラ ふうん。で、今日の感想と反省点はどんなことなの？
- ダイキ 感想は、とにかく楽しかったってことかな。子どもたちもかわかったね。②一生懸命に走っていたよね。
- サクラ うん。高校のグラウンドで走るのは初めてだから大丈夫かなあって、最初は心配したけどね。
- ダイキ みんな結構速かったし、グラウンドも広かって大喜びだったよね。出番を待つ間も、お兄ちゃん、お姉ちゃんの徒競走やリレーがすごかって、大歓声だったよね。
- サクラ 小さい子にとっては、毎日が新しい出会いと発見の連続なんだね。自分もそうだったような気がするわ。

ダイキ 僕たち、今日の準備にかなりの時間を使ってきた。子どもたちが安全で楽しく過ごすためには、どんなプログラムが良いのか、どんな準備が必要で、何をすれば良いのかを、みんなで話し合ったよね。

サクラ そうだったね。去年の先輩たちのプログラムを思い出しながら、クラスで考えたよね。去年の体育大会で、先輩たちは笑顔でキビキビと動いておられたね。見てるだけだと、子どもたちがかわいくて、楽しい時間が過ぎていく印象しか無かったから、実は簡単なことだと思ってたの。でも、実際に準備から関わってみると、結構大変だったな。

ダイキ そうなんだよ。③実際に何度も園を訪ねて、先生方と打ち合わせをしてくださる。僕たちは十分考えて、これで完璧だと思った案を持っていったつもりだったんだけど、先生方に指摘されることがいくつもあって、ちょっとショックだったんだ。

サクラ そうだったね。私たちが良いって思っても、園の先生方から言われて、あつて気づくことがあったよね。子どもの立場になって考えてるつもりだったんだけど、まだまだだなあって感じたわ。

ダイキ そうだね。僕たちが準備したのは、体育大会全体の中のひとつのプログラムなんだけど、そのたったひとつのプログラムも、多くの準備や配慮があって成り立っているんだってということに、正直驚いたんだ。

サクラ それって考えてみれば当たり前のことなんだけどね。うまく行って当たり前、安全で当たり前なんだよね。先輩たちの笑顔からは見えなかったけれど、いろんな苦労があったんだろうな。でも、今日の子どもたちの笑顔を見ると、一つひとつ丁寧に準備してきてよかったと思うわ。

ダイキ サクラは、リレーでも頑張って走っていたよね。バトンを渡したあと、子どもの背中をそっと押していたよね。そのあとその子は元気いっぱい走り出して…。

サクラ そうだったかしら。

ダイキ 何か、保育士さんっぽかった。

サクラ やめてよ、恥ずかしいな。私なんてまだまだよ。

ダイキ これが終わったら、いよいよ受験だね。

サクラ そうね、一緒に頑張って、立派な保育士になろうね。

ダイキ うん。④実際に保育士になって子どもたちに向き合う時、このノートが僕を支えてくれるような気がするんだ。

サクラ ⑤このノートはダイキの宝物だね。記録に残していくって大事なこともかもしれないね。私も始めてみようかなあ。ダイキみたいに絵が上手じゃないんだけど…。

ふたりがいた教室の窓の外には、先ほど走り終えたグラウンドが広がっています。窓のすぐ下には、二年後の教育総合類型の十周年に向けて、生徒たちが整備を続ける園庭に、コスモスが咲き揺れています。その前の坂道を、ふたりは笑顔でバス停に向かって走って行きました。

【問題文】

I 下線部①について、次の問いに答えなさい。

「さっきのリレー」では、24人の高校生と42人の園児をそれぞれ均等な人数に分け、混合で6つのチームを作り、競走しました。高校生は100メートル、園児は50メートルそれぞれ走りました。1チームあたり合計で何メートル走ったことになりますか。

II 下線部②について、リレーを走り終えた直後の子どもたちには、走る前に比べて、さまざまな身体の変化が見られます。次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、その変化が起きた理由について述べています。空欄 A にあてはまる語句を漢字で書きなさい。

【理由】

走るなど激しい運動をすると、より多くの が必要になる。肺で取り入れた を、血液によっていち早く全身の細胞に届けるため、このような身体の変化が起きる。

(2) また、(1)の理由による身体の変化を2つ具体的に書きなさい。

III 下線部③について、次の問いに答えなさい。

ダイキとサクラが園を訪ねた時、園児たちが英語の歌を練習していたことがありました。その時ふたりは見学させていただいた後、園児たちに英語で自己紹介をすることになりました。もしあなたがその場にいたら、名前等を言った後、どのように自己紹介しますか。空欄に語句を入れ、あなた自身の紹介になるような英文を作りなさい。ただし(3)には5語前後の文を書きなさい。

(例 This is a pen. → 4語)

I live in .

I like because .

IV 下線部④について、次の問いに答えなさい。

ダイキとサクラが実際に保育士になって子どもたちに向き合う時に大切だと思っていることを、課題文中の語句を使って、二つ答えなさい。

V 下線部⑤について、次の問いに答えなさい。

「このノート」には、ダイキが好きな歌人の短歌が書かれていました。次の短歌から読み取れるものに近い気持ちが表れている箇所を課題文より20字以内で抜き出して書きなさい。ただし、句読点も一字に数える。

用 振 振
意 り り
し 向 向
な いた か
が った ぬ
ら 時 子
を に を
振 見
る 送
手 れ
を り

※

※「見送れり」：「見送っている」の意味
(俵万智『生まれてバンザイ』)

VI あなたは、自分が将来関わる子どもたちに、どのように成長してほしいですか。また、そのために、子どもたちとどのように関わっていきますか。120字以上140字以内で答えなさい。ただし、句読点も一字に数え、改行せずに詰めて書きなさい。

VII あなたが将来就きたい職業は何ですか。その職業に就くためには、どんな力が必要だと思いますか。またその力を身につけるためには、高校入学後、教育総合類型の学びの中で何をしなければならないと思いますか。180字以上220字以内で具体的に書きなさい。ただし、句読点も一字に数え、改行せずに詰めて書きなさい。